

BUSINESS  
REPORT  
2012

第39期 中間報告書

第2四半期連結累計期間  
(平成24年1月1日 ~ 平成24年6月30日)



クリエートメディック株式会社

# からだにやさしい 未来の医療を築く

～私達は独創的な技術開発力で、高品質かつ安全な製品を製造し、  
人々の健康と生活の質の向上に貢献します～



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜  
わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第39期の中間報告書をお手元  
お届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げま  
す。

## ■国内の経済環境と医療機器業界

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧などを背景に緩やかな景気回復の兆しはあるものの、欧州における財政問題に伴う海外経済の減速や長引く円高の影響などにより、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当医療機器業界におきましては、本年4月に改定された診療報酬は全体では現状維持の水準となりましたが、医科材料の価格は引き下げられており、業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。

## ■当第2四半期連結累計期間の営業の概況と業績

このような状況のもと、売上におきましては主力製品の国内での販売強化と中国・欧州における海外での販売活動に重点をおいてまいりました。また、原価および経費につきましては、部資材の内製化を進めるなど一層の原価低減に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、自社販売は減少しましたが、OEM販売と中国での売上が増加したことによって、4,443百万円と前年同期比0.3%の増収となりました。

一方、利益面につきましては、主に売上不足による利益の減少、ベトナムクリエートメディック株式会社への投資負担および人件費に係わる費用の増加が影響いたしました。この結果、売上総利益は、2,085百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は、348百万円（前年同期比19.3%減）、経常利益は、333百万円（前年同期比20.8%減）、四半期純利益は、182百万円（前年同期比36.1%減）となりました。

売上を販売形態別に見ますと、まず自社販売では診

療報酬改定による売価下落の影響や新製品発売の遅延などにより、3,192百万円（前年同期比2.0%減）と減少しました。

製品系統別の内訳では、泌尿器系製品はフォーリーカテーテル類、セフティカテ（自己導尿用カテーテル）などの数量は増加いたしました。全般的に価格下落の影響を受けました。消化器系製品は、イレウスチューブ、経胃瘻的腸用カテーテルは増加しましたが、胃瘻交換用カテーテルは伸び悩みました。外科系製品では内視鏡下手術関連製品や気管切開チューブが堅調に推移しました。血管系製品ではマイクロカテーテルや心血管アンギオカテーテルが売価下落の影響を受けました。看護・検査系ほか製品では組織採取用の製品は増加しましたが、注腸検査用のチューブやドレープ系製品が減少しました。

OEM販売では気管切開チューブと一部の血管造影関連製品が受注を伸ばしたことにより、794百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

海外販売等ですが、欧州・アジアを中心とする地域では、泌尿器系製品、消化器系製品を中心に販売が伸び悩みましたが、中国での販売は循環器系製品の追加もあり全系統で増加しました。その結果、456百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

また、製品系統別の実績では泌尿器系製品は、1,176百万円（前年同期比2.4%増）、消化器系製品は、1,575百万円（前年同期比2.5%減）、外科系製品は、534百万円（前年同期比7.0%増）、血管系製品は、793百万円（前年同期比1.4%減）、看護・検査系ほか製品は、364百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

### ■対処すべき課題

当医療機器業界におきましては、診療報酬包括化（DPC）の拡大、SPD化（医療材料の物流管理の効率化）の進展、国立病院機構での共同購入の拡大などにより、ますます競争が激化していくものと思われ。このような状況のなか、当社グループは、採算性重視を前提とした販売活動、特に自社販売に重点をおくとともに、将来の有望な市場となる中国への販売に一層注力してまいります。

また、生産面におきましては、ベトナム国ドンナイ省に設立いたしましたベトナムクリエートメディック有限会社の工場が、本年から本格的に稼働いたしますので、製品の安定的な供給と一層の原価低減を図ってまいります。

一方で、経営の効率化はもちろんのことですが、今まで以上に品質、安全性を確保することも経営上の重要な課題となってきております。

当期の中間配当金につきましては、1株につき15円とさせていただきますが、当社は利益還元を経営の重要課題と位置づけ、業績に応じた利益配分をおこないつつ、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図ってまいり所存であります。

今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたす決意でありますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年9月

代表取締役社長 吉野 周三

区 分		平成22年 (第37期)	平成23年 (第38期)	平成24年 (第39期)
売 上 高(百万円)	第2四半期	4,503	4,431	4,443
	通 期	9,097	9,325	—
経 常 利 益(百万円)	第2四半期	590	421	333
	通 期	1,113	982	—
当 期 純 利 益(百万円)	第2四半期	367	285	182
	通 期	667	583	—
総 資 産(百万円)	第2四半期	14,562	14,967	16,163
	通 期	14,744	15,255	—
純 資 産(百万円)	第2四半期	10,706	10,879	11,063
	通 期	10,756	11,006	—
フリーキャッシュ・フロー(百万円)	第2四半期	149	458	△288
	通 期	2	△37	—
1株当たり当期純利益(円)	第2四半期	38.17	29.69	18.98
	通 期	69.41	60.66	—
1株当たり純資産額(円)	第2四半期	1,113.33	1,131.29	1,150.47
	通 期	1,118.52	1,144.47	—
1株当たり配当金(円)	第2四半期	15	15	15
	通 期	33	33	—

(注) 1. フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。  
2. 平成24年（第39期）の通期につきましては、現在期中により「—」で表示しております。

# 四半期連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第39期第2四半期	第38期第2四半期	第38期
		(平成24年6月30日現在)	(平成23年6月30日現在)	(平成23年12月31日現在)
	金額	金額	金額	金額
(資産の部)				
流動資産	10,062	9,838	9,619	
現金及び預金	3,741	4,049	3,550	
受取手形及び売掛金	3,402	3,030	3,376	
有価証券	310	310	310	
商品及び製品	1,358	1,280	1,155	
仕掛品	549	512	582	
原材料及び貯蔵品	496	460	457	
繰延税金資産	96	113	102	
その他	109	83	83	
貸倒引当金	△1	△1	△1	
固定資産	6,100	5,129	5,636	
有形固定資産	3,987	3,638	3,790	
建物及び構築物	1,576	1,680	1,613	
機械装置及び運搬具	308	257	303	
土地	1,485	1,485	1,485	
リース資産	51	77	63	
①建設仮勘定	443	45	192	
その他	122	93	131	
無形固定資産	163	174	163	
借地権	136	137	132	
その他	26	36	31	
投資その他の資産	1,949	1,315	1,681	
投資有価証券	1,431	742	1,129	
繰延税金資産	375	433	406	
その他	147	142	150	
貸倒引当金	△4	△2	△4	
資産合計	16,163	14,967	15,255	

### POINT

①建設仮勘定  
ベトナムクリエートメディック有限会社の本工場建設に係る費用計上が増加要因であります。

科目	期別	第39期第2四半期	第38期第2四半期	第38期
		(平成24年6月30日現在)	(平成23年6月30日現在)	(平成23年12月31日現在)
	金額	金額	金額	金額
(負債の部)				
流動負債	2,899	2,928	3,053	
支払手形及び買掛金	1,114	856	992	
短期借入金	1,045	1,145	1,316	
一年内返済予定長期借入金	-	84	77	
リース債務	21	26	23	
未払法人税等	103	202	162	
賞与引当金	44	36	29	
役員賞与引当金	6	6	12	
その他	563	570	439	
固定負債	2,200	1,158	1,195	
②長期借入金	993	-	-	
リース債務	32	53	42	
退職給付引当金	995	941	981	
役員退職慰労引当金	176	160	168	
資産除去債務	2	-	2	
その他	-	2	-	
負債合計	5,099	4,087	4,249	
(純資産の部)				
株主資本	11,254	11,092	11,244	
資本金	1,461	1,461	1,461	
資本剰余金	1,486	1,486	1,486	
利益剰余金	8,340	8,178	8,331	
自己株式	△34	△34	△34	
その他の包括利益累計額	△190	△212	△238	
その他有価証券評価差額金	14	10	13	
為替換算調整勘定	△204	△223	△252	
純資産合計	11,063	10,879	11,006	
負債・純資産合計	16,163	14,967	15,255	

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 有形固定資産の減価償却累計額 3,735百万円

### POINT

②長期借入金  
ベトナムクリエートメディック有限会社の設備投資と運転資金の借入金を計上しております。

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第39期第2四半期	第38期第2四半期	第38期
		(平成24年1月1日~平成24年6月30日)	(平成23年1月1日~平成23年6月30日)	(平成23年1月1日~平成23年12月31日)
	金額	金額	金額	金額
売上高	4,443	4,431	9,325	
売上原価	2,357	2,316	4,822	
売上総利益	2,085	2,114	4,502	
販売費及び一般管理費	1,737	1,683	3,501	
営業利益	348	431	1,001	
営業外収益	13	14	27	
営業外費用	28	23	46	
経常利益	333	421	982	
特別利益	-	90	90	
特別損失	-	4	21	
税金等調整前四半期(当期)純利益	333	506	1,052	
法人税、住民税及び事業税	113	214	427	
③法人税等調整額	37	6	41	
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	182	285	583	
四半期(当期)純利益	182	285	583	

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 1株当たりの四半期純利益(期中平均発行済株式数による) 18円98銭

## ■ 四半期連結株主資本等変動計算書

当第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日~平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
平成24年1月1日残高	1,461	1,486	8,331	△34	11,244	13	△252	△238	11,006
第2四半期連結累計期間中の変動額									
剰余金の配当			△173		△173				△173
四半期純利益			182		182				182
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の第2四半期連結累計期間中の変動額(純額)					-	0	47	48	48
第2四半期連結累計期間中の変動額合計	-	-	9	△0	9	0	47	48	57
平成24年6月30日残高	1,461	1,486	8,340	△34	11,254	14	△204	△190	11,063

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(単位：百万円)

科目	期別	第39期第2四半期	第38期第2四半期	第38期
		(平成24年1月1日~平成24年6月30日)	(平成23年1月1日~平成23年6月30日)	(平成23年1月1日~平成23年12月31日)
	金額	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	331	689	864	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△620	△231	△901	
財務活動によるキャッシュ・フロー	459	△168	△159	
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△6	△20	
現金及び現金同等物の増減額	182	283	△216	
現金及び現金同等物期首残高	3,637	3,852	3,852	
現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	3,819	4,136	3,636	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT

③法人税等調整額  
海外子会社の配当方針変更に伴う繰延税金負債を計上しております。

# 個別四半期財務諸表(要旨)

## ■四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第39期第2四半期	第38期第2四半期	第38期
		(平成24年6月30日現在)	(平成23年6月30日現在)	(平成23年12月31日現在)
<b>(資産の部)</b>				
流動資産	金額	8,258	8,715	8,393
固定資産	金額	6,575	5,239	5,705
有形固定資産	金額	2,181	2,258	2,215
無形固定資産	金額	23	34	28
投資その他の資産	金額	4,371	2,946	3,460
<b>資産合計</b>	<b>金額</b>	<b>14,833</b>	<b>13,955</b>	<b>14,098</b>
<b>(負債の部)</b>				
流動負債	金額	2,583	2,634	2,773
固定負債	金額	2,183	1,141	1,178
<b>負債合計</b>	<b>金額</b>	<b>4,766</b>	<b>3,775</b>	<b>3,952</b>
<b>(純資産の部)</b>				
株主資本	金額	10,053	10,169	10,132
資本金	金額	1,461	1,461	1,461
資本剰余金	金額	1,486	1,486	1,486
利益剰余金	金額	7,139	7,255	7,219
自己株式	金額	△34	△34	△34
評価・換算差額等	金額	14	10	13
その他有価証券評価差額金	金額	14	10	13
<b>純資産合計</b>	<b>金額</b>	<b>10,067</b>	<b>10,179</b>	<b>10,146</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>金額</b>	<b>14,833</b>	<b>13,955</b>	<b>14,098</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■四半期損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第39期第2四半期	第38期第2四半期	第38期
		(平成24年1月1日~平成24年6月30日)	(平成23年1月1日~平成23年6月30日)	(平成23年1月1日~平成23年12月31日)
売上高	金額	4,079	4,279	9,016
売上原価	金額	2,433	2,428	5,151
売上総利益	金額	1,645	1,850	3,864
販売費及び一般管理費	金額	1,585	1,577	3,288
<b>営業利益</b>	<b>金額</b>	<b>60</b>	<b>273</b>	<b>575</b>
営業外収益	金額	86	9	20
営業外費用	金額	9	10	26
<b>経常利益</b>	<b>金額</b>	<b>136</b>	<b>272</b>	<b>570</b>
特別利益	金額	-	90	90
特別損失	金額	-	4	21
<b>税引前四半期(当期)純利益</b>	<b>金額</b>	<b>136</b>	<b>357</b>	<b>639</b>
法人税、住民税及び事業税	金額	53	156	300
法人税等調整額	金額	△10	22	52
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>金額</b>	<b>93</b>	<b>179</b>	<b>287</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■四半期株主資本等変動計算書

当第2四半期累計期間(平成24年1月1日~平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
			利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金合計
平成24年1月1日残高	1,461	1,486	150	4,900	2,169	7,219	△34	10,132	13	13	10,146
第2四半期累計期間中の変動額											
剰余金の配当					△173	△173		△173			△173
四半期純利益					93	93		93			93
自己株式の取得							△0	△0			△0
株主資本以外の項目の第2四半期累計期間中の変動額(純額)								-	0	0	0
第2四半期累計期間中の変動額合計	-	-	-	-	△79	△79	△0	△79	0	0	△78
平成24年6月30日残高	1,461	1,486	150	4,900	2,089	7,139	△34	10,053	14	14	10,067

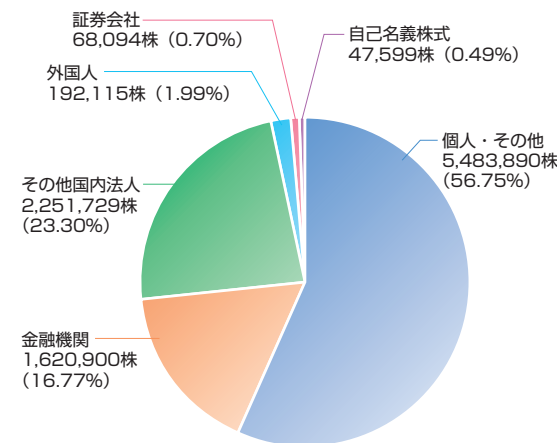
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況 (平成24年6月30日現在)

# 役員 (平成24年9月7日現在)

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 9,664,327株
- 株主数 4,871名

## 株式分布状況



- 代表取締役名誉会長 西村 忠郎
- 代表取締役社長 吉野 周三
- 取締役 笠原 正孝
- 取締役 関戸 孝雄
- 取締役 佐藤 正浩
- 取締役 杉本 一郎
- 取締役 谷口 英彦
- 取締役 赤岡 洋三
- 取締役 藍 純男
- 取締役 遠藤 晋一
- 常勤監査役 飯島 昭
- 常勤監査役 中村 廣美
- 監査役 額 綴 卓尾

# 会社の概要 (平成24年6月30日現在)

- 本社所在地 〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
- 設立 昭和49年8月12日
- 資本金 1,461,735,390円
- 事業所 北海道工場、水戸工場、総合開発センター、14営業拠点(札幌、盛岡、仙台、さいたま、東京、千葉、横浜、名古屋、金沢、大阪、神戸、広島、福岡、鹿児島)
- 連結子会社 大連クリエート医療製品有限公司  
クリエート国際貿易(大連)有限公司  
九州クリエートメディック株式会社  
ベトナムクリエートメディック有限会社
- 関連会社 北京万東クリエート医用製品有限公司

# 製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコンを用いた製品を幅広く取り扱っています。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者さんのQOL（Quality of life）の向上を目指しています。

## 泌尿器系



### 留置導尿関連製品

全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また持続的な排尿が可能です。



### 腎瘻（じんろう）造設術関連製品

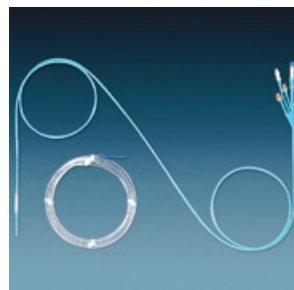
尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿する事を目的とします。



### 自己導尿関連製品

排尿障害などを起こした場合に、患者さん自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

## 消化器系



### イレウス関連製品

イレウス（腸閉塞）の患者さんに、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内に溜まった内容を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。



### 胃瘻（いろう）造設術関連製品

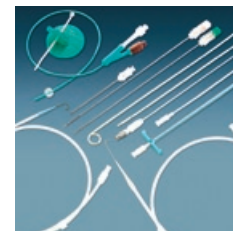
脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。



### 栄養投与関連製品

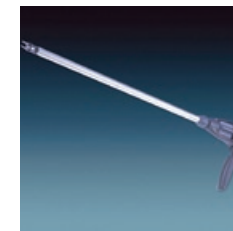
開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

## 外科系



### PTCD関連製品

胆管や胆嚢に溜まった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。



### 内視鏡下手術関連製品

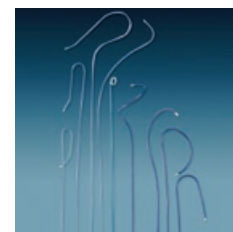
低浸襲手術（患者さんの体に対するダメージを最小限にする手術）の代表的な術式である「内視鏡下手術」において、使用するものです。



### 麻酔関連製品

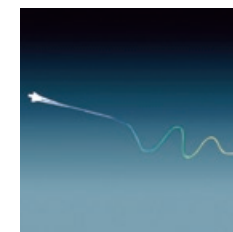
術後や末期がんの患者さんなどの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスポーザブル注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者さんの痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。

## 血管系



### 血管造影関連製品

X線で血管の病変を診断するために、造影剤を注入するためのカテーテルです。



### 血管内治療関連製品

主に細い血管の中を通し、肝臓などのがんへの抗がん剤注入、血管に塞栓物質を挿入するカテーテルです。

## 看護・検査系ほか



### 注腸検査関連製品

直腸・大腸がん検査に使用するカテーテルであり、肛門から造影剤を注入してX線の検査をおこないます。



### 自動注腸装置

注腸X線検査の際に、造影剤、空気注入および排泄を遠隔操作で自動的におこなうためのYチューブ専用注腸装置です。



### 生検針

生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月下旬
- 定時株主総会の基準日  
期末配当の基準日 毎年12月31日
- 中間配当の基準日 毎年6月30日
- 公告方法 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- 株主名簿管理人  
(特別口座の口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先  
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でおこなっております。

### (お知らせ)

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について  
配当金の支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告をおこなう際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。  
なお、株式数比例配分方式をご指定いただいております株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にておこなわれます。確定申告をおこなう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。



クリエートメディック株式会社

本 社

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号  
TEL (045) 943-2611 URL <http://www.createmedic.co.jp>